

ナショナル ガスドロップインテーブル

品番	GE-BH20F	GE-BH11S
	GE-BH10F	GE-MH10F
	GE-BH10G	GE-MH10G
	GE-BH10S	GE-MH10S

工事される方へのお願い

- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検（有料）を受けてください。

設置工事後の点検確認

● チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
器具及びその周辺	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	2
	同梱部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	2
	設置場所	水平で安定した場所に設置されていますか。	2
	給排気設備	十分給排気できる場所に設置されていますか。	2
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	4	

試運転

1. 取扱説明書の「使いかた」に基づき試運転を行なってください。
2. 試運転が終了した後長時間使用しない場合などは、ガス栓を閉じるなどしてください。

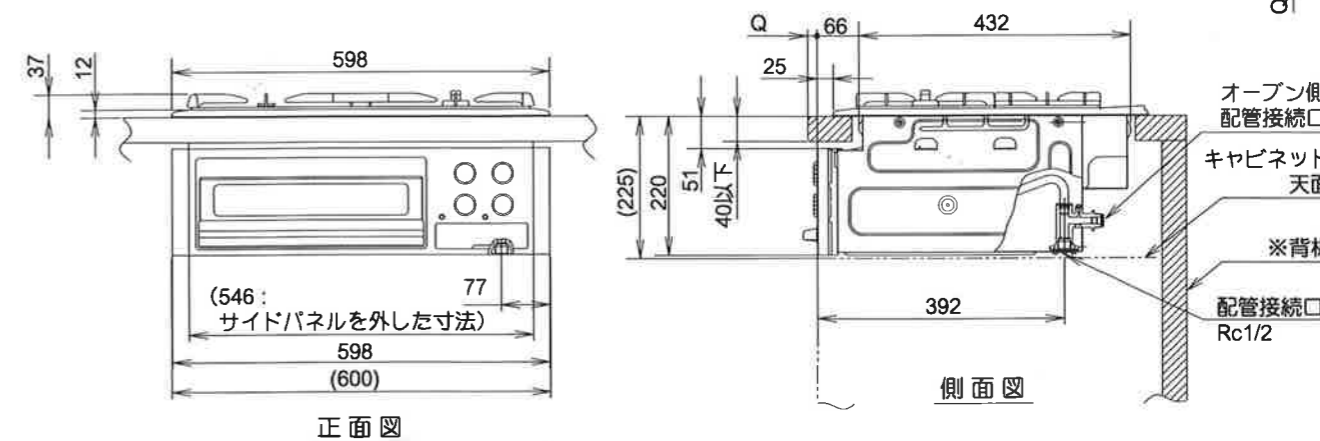
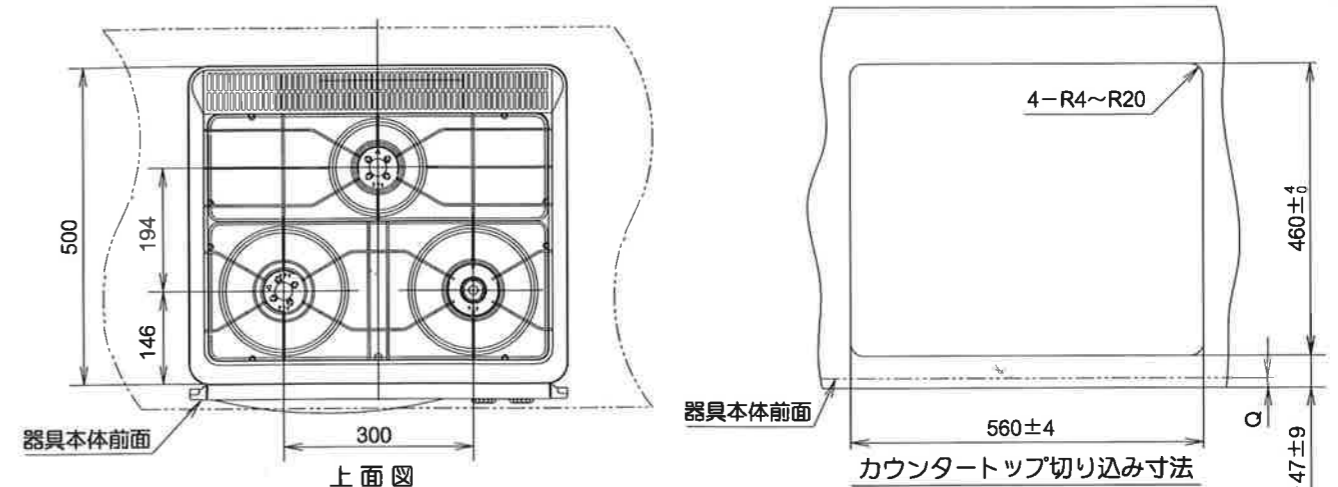
お客様への取扱い説明

1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も併せて保管していただくようお願いしてください。

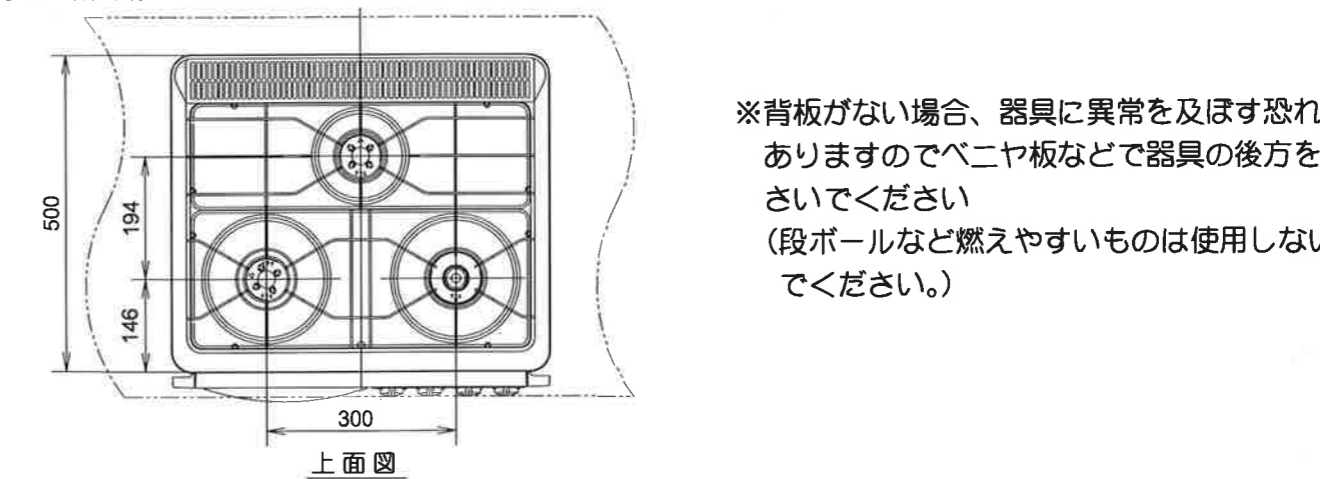
1. 寸法図 (キッチン組込み寸法図)

GE-BH10F・G・S, GE-BH11S, GE-BH20F

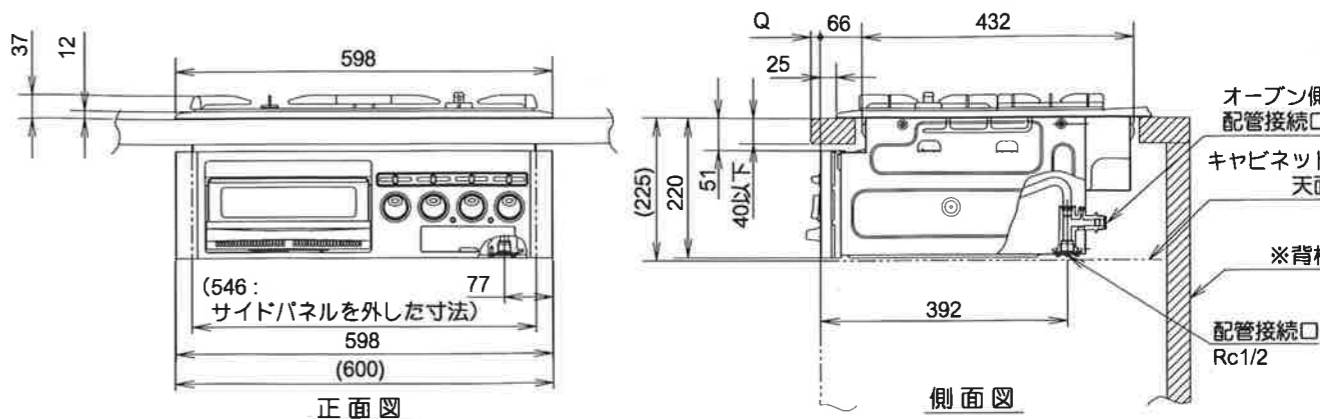
[単位: mm]



GE-MH10F・G・S



※背板がない場合、器具に異常を及ぼす恐れがありますのでベニヤ板などで器具の後方をふさいでください
(段ボールなど燃えやすいものは使用しないでください。)



2. 安全上のご注意 必ずお守りください

器具を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者及びお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った設置工事を行なうと、設置工事業者または設置後の製品の不具合により使用者に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

- このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■建築基準法、消防法、各都市の市条例、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)電気設備技術基準などに従う



上記に従わないと、不備により火災などの原因となります。

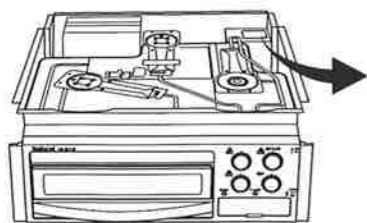
■この「設置工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行なう



有資格者以外のもとの工事は不備による火災や器具故障の原因となります。

注意

■銘板に表示のガス種を使用する



製造年月(〇年×月製)を示します。

都市ガス12A・13Aの場合

型式名	都市ガス用	
ガス区分	12A	13A
ガス消費量		
製造年月	〇〇〇〇年××月	
メーカー	松下電器産業株式会社	

異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり一酸化炭素中毒や、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず給気口を設ける



(給気口の大きさは、1.16 kW (1 000 kcal/h) 当たり 10 cm²以上を目安にする。)

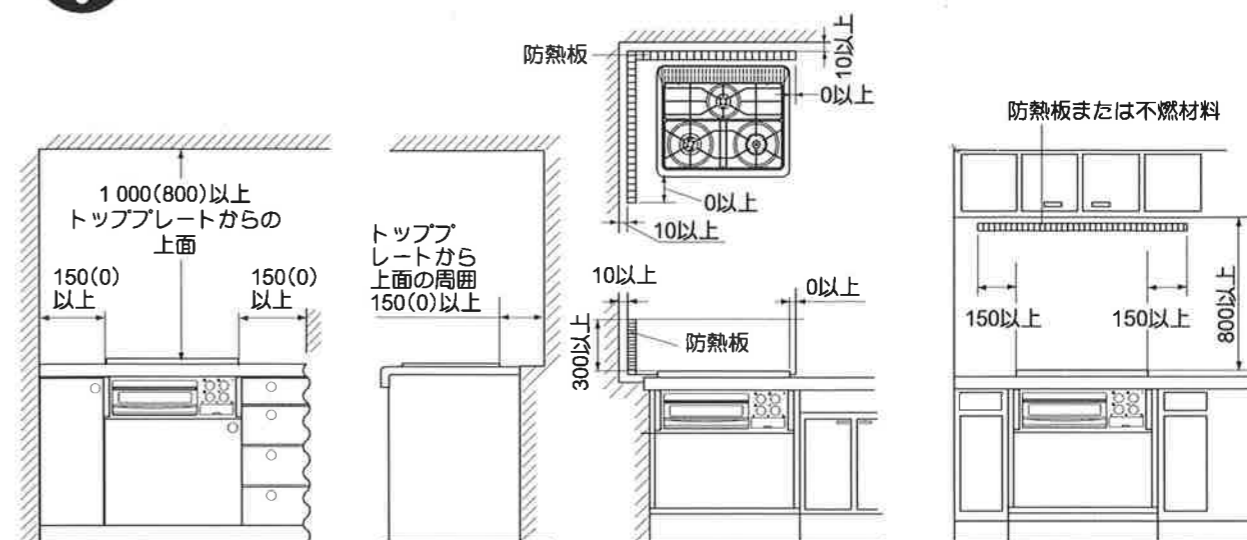
十分な給気ができないと不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

注意

■周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置する



[単位: mm]



器具と壁面との間隔を15 cm以上離せない場合、または吊り戸棚などの下面との間隔を100 cm以上離せない場合には、壁面および器具上部へ図のように防熱板(別売品)または防熱板相当の不燃材料を取り付ける。

上図は器具と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分など」との離隔距離を示し、()内は上記に防熱板を取り付けた場合の寸法を示します。

可燃性の壁に、ステンレス板などを貼り付けてご使用の場合も上記内容に従ってください。

上図の離隔距離を確保できないと器具または建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない



火災の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により器具が転倒し、火災や器具故障の原因となります。

■この器具を設置する台所が、建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は、台所全体についても指定の内装材を使用する



建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず排気口を設ける



●ガス消費量が11.6 kW (10 000 kcal/h) を超える場合は器具の真上に排気フード付排気筒(レンジフード)を設ける

十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

2. 安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

■できるだけ湿気の少ない場所に設置する



水のかかる場所は部品の故障やガラスの破損の原因となります。また、器具の寿命が短くなります。

■器具の回りや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類などの燃えやすいものを置かない



火災の原因となります。

■ガス接続工事は必ず有資格者が行なう



有資格者以外のもとの工事は、不備によりガス漏れなどの原因となります。

■棚の下など、落下物の危険のある所、および樹脂製の照明器具の下には設置しない



落下物による火災や、熱による照明器具の変色の原因となります。

■丈夫で水平な場所に設置する



水平になっていないと、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

■金属製のカウンタートップにオープンセットで接続する場合は必ず絶縁テープなどで絶縁処理をする



漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準 182 条により義務付けられています。)

■カウンタートップの表面がニス引きのものは使用しない



熱による変色の原因となります。

■カウンタートップの材質は、熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の材料を使用する



他の材質のものを使用すると過熱し、火災の原因となります。

お願い

■器具後方の排気口を水切りカバー(水返しカバー)などでふさがない。また本体をタイルやモルタルなどで塗り込まない

■グリル上部のカウンタートップ部は、高温になるため、塩化ビニル樹脂など耐熱温度の低い材料の使用は避けてください

メンテナンス時に修理ができないことがあります。

3. 同梱部品の確認

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
バーナーキャップ (右コンロ用)		1	しる受け皿 (奥コンロ用)		1
バーナーキャップ (左コンロ用)		1	焼網	GE-BH10 GE-BH11 GE-BH20 GE-MH10 	1
バーナーキャップ (奥コンロ用)		1			
ごとく前		1	サイドパネル		2
ごとく後		1	※機種によりサイズが異なります		
しる受け皿 (右コンロ用)		1	乾電池 (単1形)		2
しる受け皿 (左コンロ用)		1	取扱説明書 設置工事説明書		各1

■ 別売品 (防熱板)

GT-P40 幅 600 × 高さ 350 × 厚み 16 mm

KBN-2 幅 610 × 高さ 350 × 厚み 16 mm (キッチンシステム事業部扱い)

4. ガス配管・接続工事

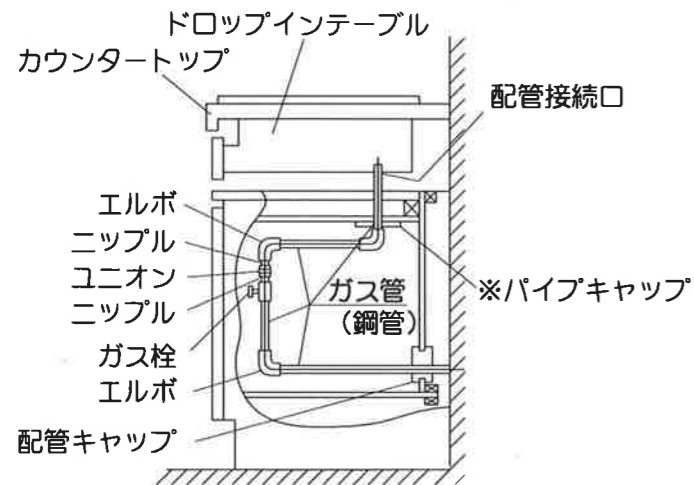
ガス配管工事

器具を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換する必要があります。なおガス栓の新設・交換はガス事業者にご相談ください。

ガス接続方法

〈ドロップインテーブル単体で設置する場合〉

- ガス接続はRc1/2メネジになっています。必ず金属管または金属可とう管にてガス接続してください。
- ガス栓は、下図に従って取り付けてください。



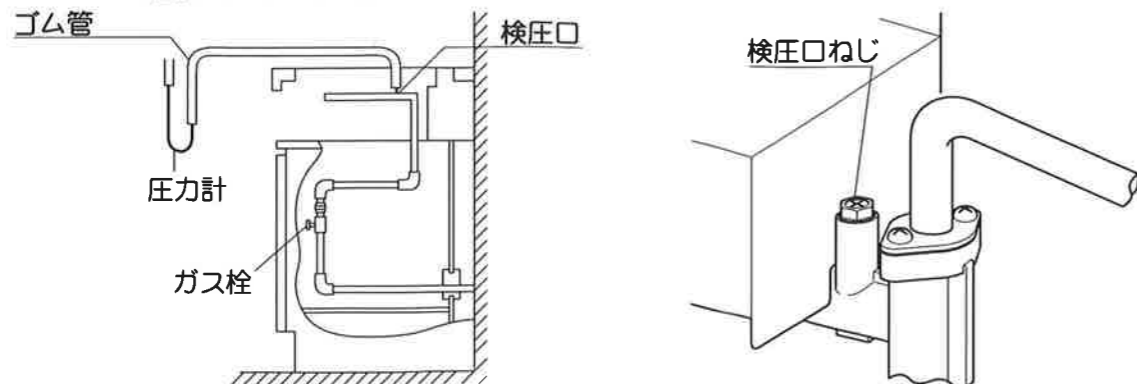
※パイプキャップや配管キャップを取付け、配管周囲の隙間はなくすようにしてください。隙間が大きいとバーナーの吹き消えや炎の吸引による異常過熱の原因となります。

〈ドロップインテーブルとガスコンベクションオープンをセットで設置する場合〉

- ガス接続、配管工事は、オープン側の「設置工事説明書」を参照してください。

工事後のガス漏れの確認

- 検圧口に圧力計を接続し、ガス栓を開いてガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。



〔ガス漏れの確認終了後〕

- 検圧口ねじは、Oリングがついていることを必ず確認してから確実に取り付けてください。

ガス接続工事

ドロップインテーブルとガスコンベクションオープンとのガス接続方法

⚠ 注意

■ 金属可とう管にOリングがついていること、およびOリングに傷のないことを必ず確認する（Oリングは複数個入れない）

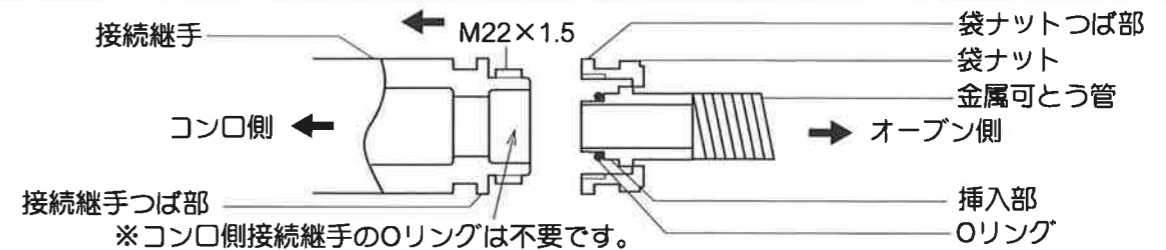


ガス漏れの原因となります。

■ 固定金具のスリット穴の中に接続継手と金属可とう管の袋ナットのつば部が入っていることを必ず確認する



金属可とう管の袋ナットの締まりが不十分であるとスリット穴につば部が入らず、ガス漏れの原因となります。

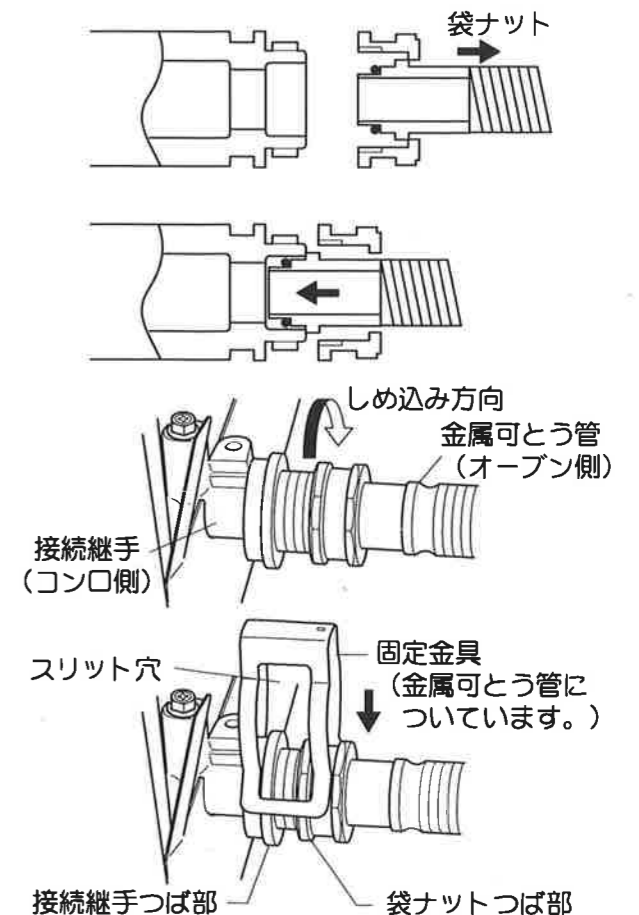


① オープン側に組み付けてある金属可とう管の袋ナット部を→方向へ移動させてください。

② 挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。

③ 手じめで金属可とう管の袋ナットをねじ込んだ後、スパナで確実に締め込んでください。

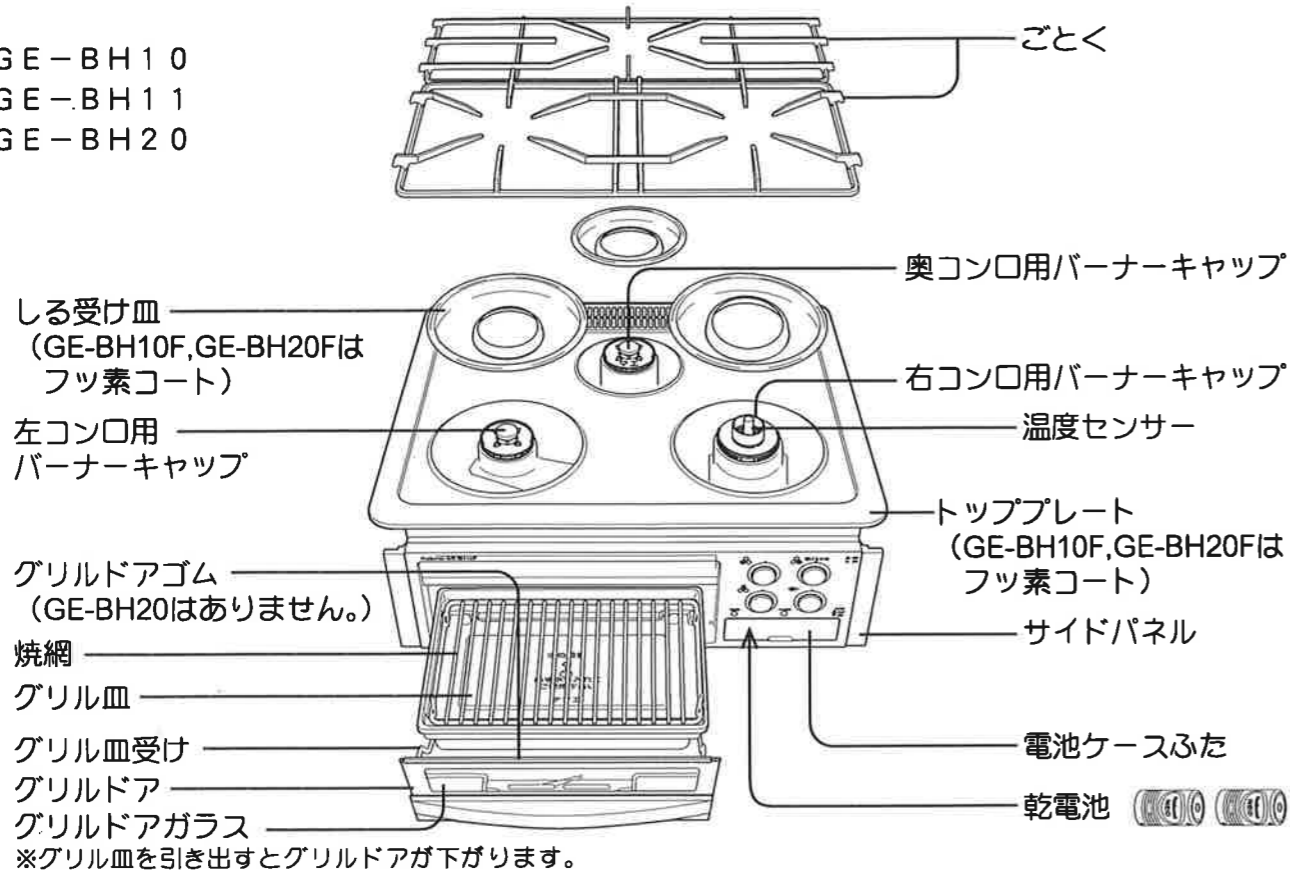
④ 袋ナットと接続継手の両方のつば部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。



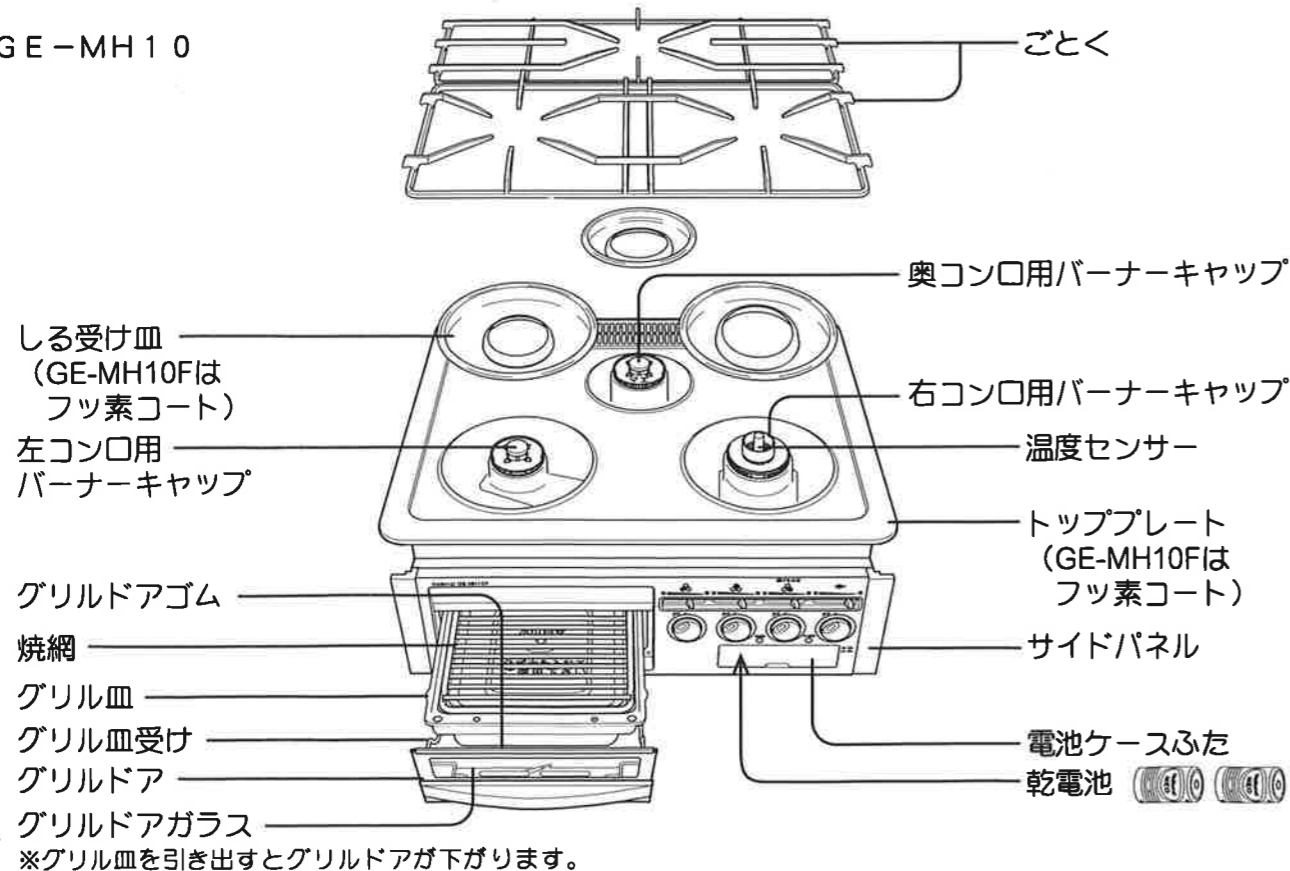
5. 器具の設置

設置部品の概要

GE-BH10
GE-BH11
GE-BH20

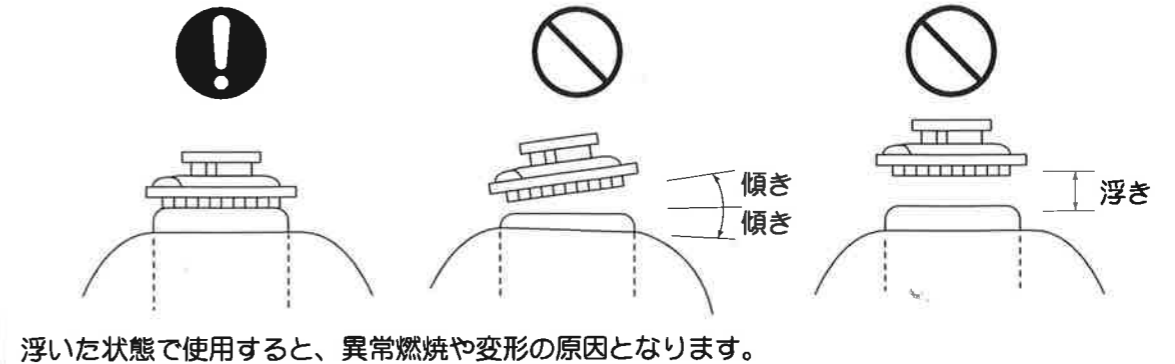


GE-MH10



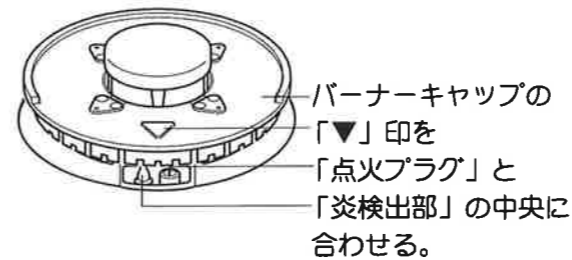
⚠ 注意

■バーナーキャップは正しくセットする



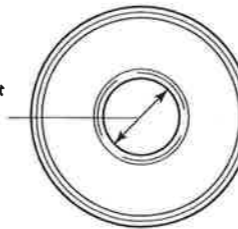
器具設置時のお願い

●バーナーキャップの▼印を点火プラグと炎検出部の中央に合わせてください。

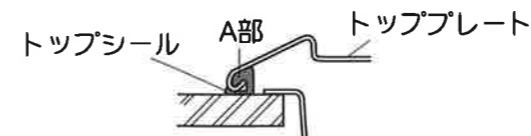


●しる受け皿は、トッププレートに正しくセットしてください。
※左右のコンロでしる受け皿を間違わないでください。

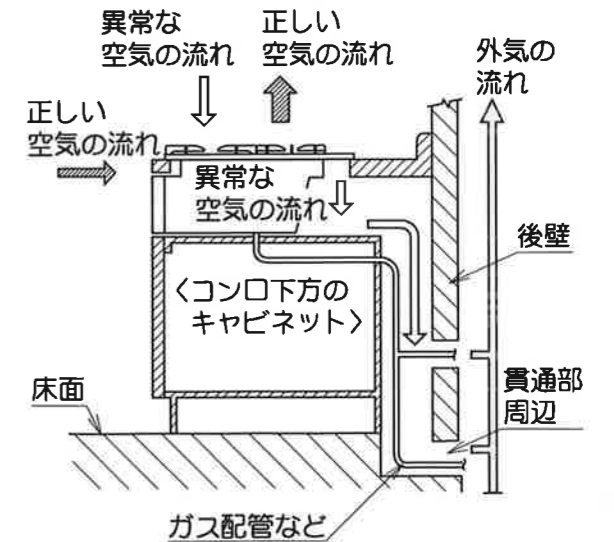
内径の小さいものが左コンロ用です。



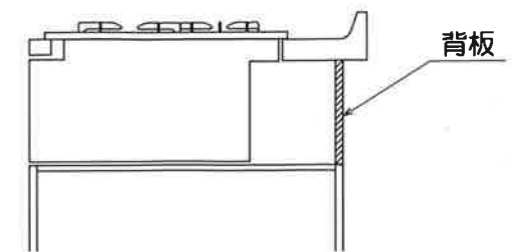
●トッププレート周囲のトップシールが外れていないことを確認してからトッププレートを取り付けてください。
※外れた場合は、A部をトッププレート内側に挿入し、図のように取り付けてください。



●キャビネットに背板が無い場合、後壁の配管貫通部で内気と外気がつながり、下図のような異常な空気の流れが起こるため、炎がゆらいだり、火が消えたりすることがあります。



●上記のような現象をなくすため下図のようにベニヤ板などで器具の後方をふさいでください。(ダンボールなど燃えやすいものは使用しないでください。)

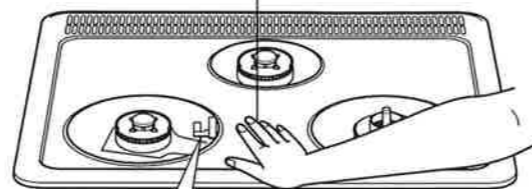


ドロップインテーブル 単独で設置する場合

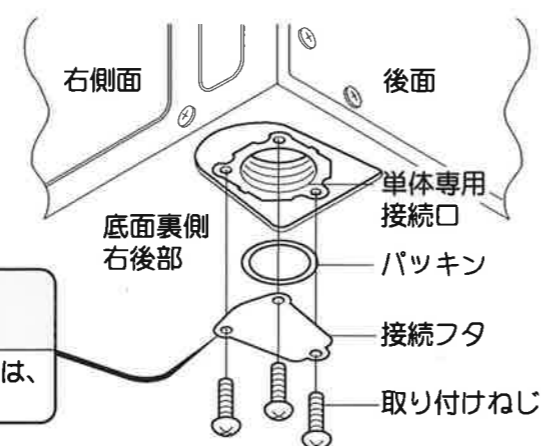
① 部品の取り外し

- バーナーキャップ、しる受け皿を取り外してください。
- グリルドアを少し持ち上げるようにして、グリル皿を引き出してください。
- トッププレートを固定カナグのレバーを矢印(押す)の方向に回転させて外してください。(右図参照)
- 器具側ガス接続口の接続フタの取り外し。
 - ・ねじ2本を外して、接続フタとパッキンを取り外してください。
 - ・取り外した部品は不要です。

1 ごとく、しる受け皿を取り、トッププレートの中央を軽く押さえながら



2 レバーを回す

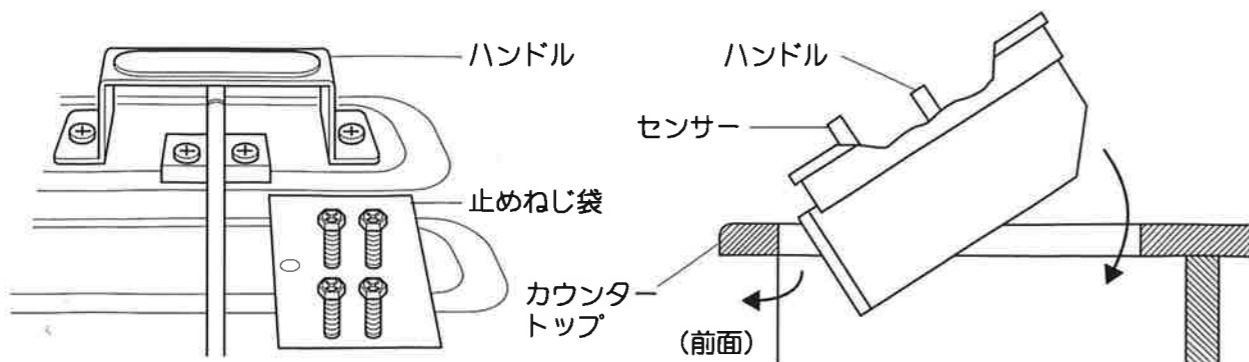


⚠ 注意

■ オープンと接続する場合は、接続フタを外さない

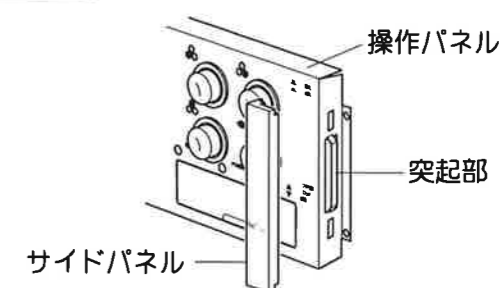
② 本体の設置

- 本体から止めねじ袋を取り外してください。(GE-BH20Fのみ)
- 上面のハンドルを持ち、下図のようにカウンタートップに挿入し、はめ込んでください。
※センサーや前面のつまみなどをカウンタートップに当てないでください。



③ サイドパネルの取り付け

- 操作パネルの突起部の隙間にまっすぐ差し込み、操作パネルとサイドパネルの上面が合うように調節してください。



④ 本体の固定

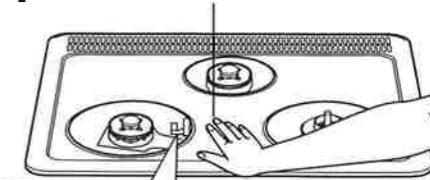
- 本体の位置決め後、止めねじ4本で、本体を固定してください。(GE-BH20Fは、止めねじ袋に入っています。)
- 締付け要領
止めねじ先端がカウンタートップに触れてから約1.5回転程度
※必ずハンドドライバーを使用し、締付け過ぎないようにしてください。(締め付けすぎるとトッププレートの装着が困難になります。)



⑤ 部品の取り付け

- トッププレートを固定カナグのレバーを矢印(ロック)の方向に回転させて固定してください。(右図参照)
- バーナーキャップ、しる受け皿、ごとくの順でセットしてください。
- グリル皿を引き出した時、グリルドアが下がるようにグリルドアとグリル皿は分離していますので、外れた場合は取扱説明書を参照して取り付けてください。
- 乾電池ケースふたをあげ、単1形乾電池2個をセットしてください。

1 トッププレートの中央を軽く押さえながら



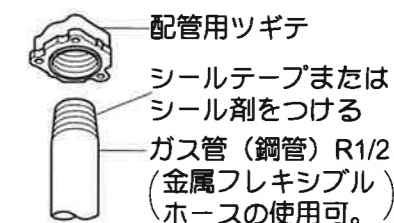
2 レバーを回す



「ロック」の方向へ回す。

⑥ ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なってください。
(4. ガス配管・接続工事 参照)

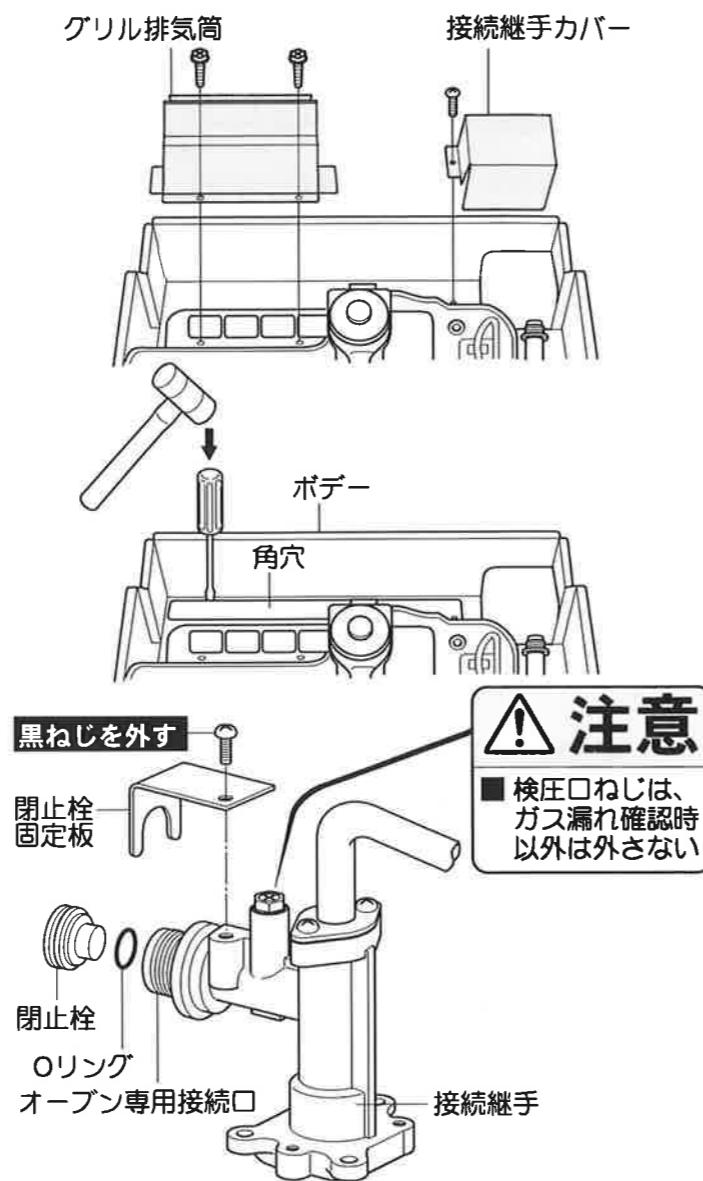


5. 器具の設置

ドロップインテーブルとガスコンベクションオーブンをセットで設置する場合

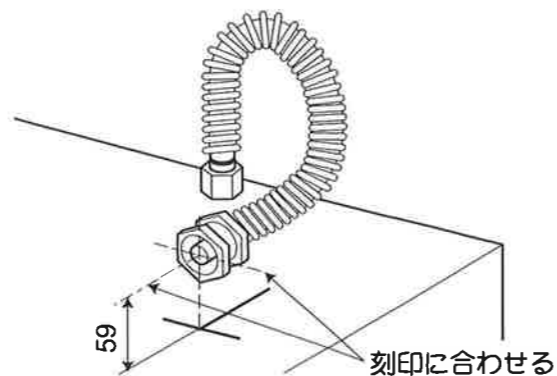
① 部品の取り外し

- バーナーキャップ、しる受け皿、トップレート、グリル皿を取り外してください。(ドロップインテーブル単独で設置する場合の①参照)
- グリル排気筒と接続継手カバーの取り外し。
 - ねじ2本を外して、グリル排気筒を取り外してください。
 - ねじ1本を外して、接続継手カバーを取り外してください。
- ※グリル排気筒と接続継手カバーとねじ3本は、「⑦グリル排気筒の取り付け」「⑧接続継手カバーの取り付け」で必要になりますので捨てないでください。
- ボデー後部に角穴をあける。
 - 角穴部のラインに沿って、マイナスドライバーなどで打ち抜く。打ち抜いた板は不要です。
- 閉止栓の取り外し。
 - 黒ねじ1本を外して、閉止栓固定板を取り外してください。
 - 次に、閉止栓を後方へ引き抜いてください。取り外した閉止栓固定板とOリングは不要です。
- ガスコンベクションオープン側の作業
→ガスコンベクションオープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行ってください。



② ドロップインテーブル本体の設置

- ドロップインテーブルをはめ込む前に、オープン側の金属可とう管を右図のような形状・寸法に曲げてください。
- ドロップインテーブル本体のはめ込み (ドロップインテーブル単独で設置する場合の②参照)



③ サイドパネルの取り付け

(ドロップインテーブル単独で設置する場合の③参照)

④ ドロップインテーブル本体の固定

(ドロップインテーブル単独で設置する場合の④参照)

- オープン側は、オープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照してください。

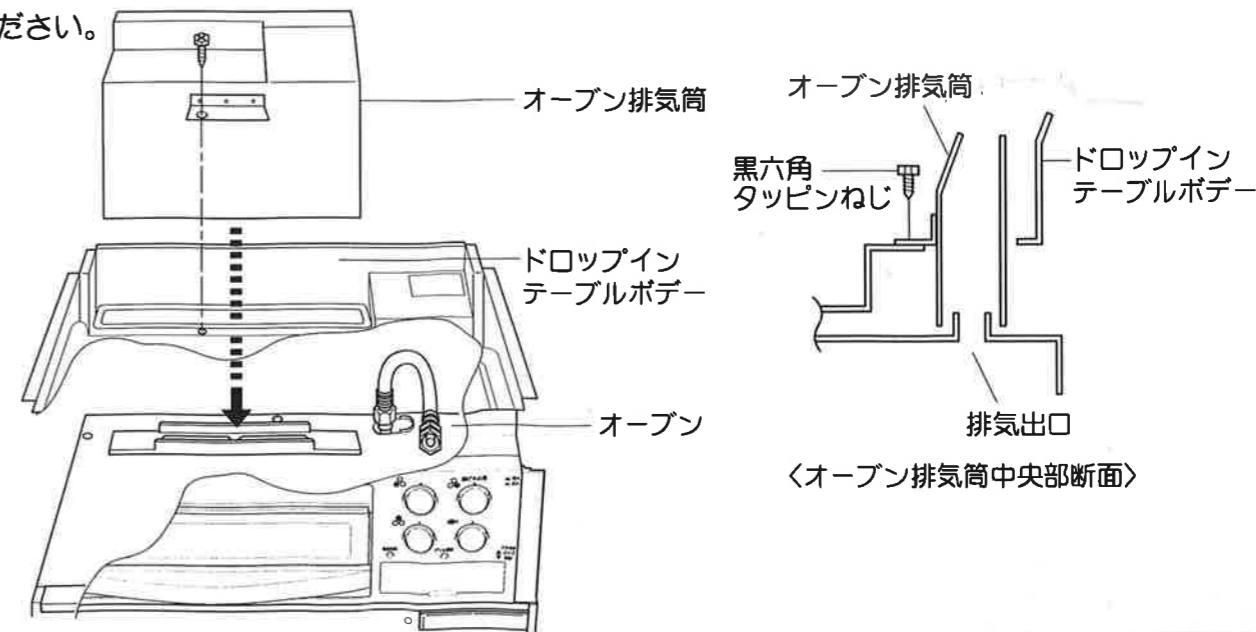
⑤ オープンとドロップインテーブルの接続

(接続の方法は、4. ガス配管・接続工事 参照)

- オープン側に組み付けてある金属可とう管をドロップインテーブル側の接続口と接続してください。

⑥ オープン排気筒(オープン側の付属品)の取り付け

- ドロップインテーブルのボデー後部に開口した角穴を通して、オープン排気筒をオープン後側の排気出口に確実に差し込み、ねじ1本(オープン側に付属)でドロップインテーブルのボデーに取り付けてください。

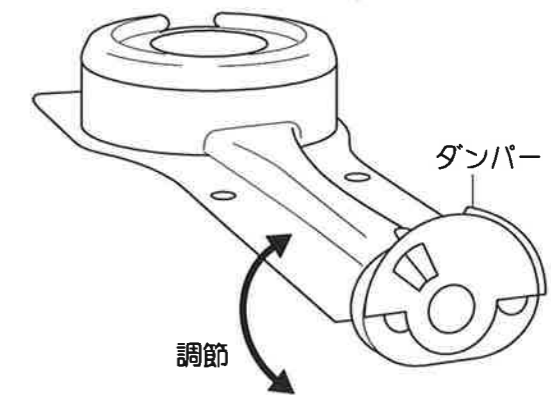


6. 試運転

試運転を行なう

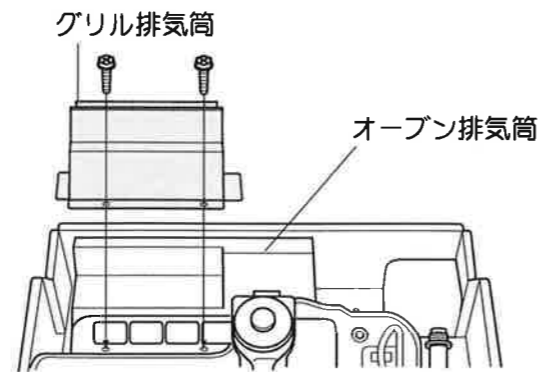
- 表面の **設置工事後の点検確認** の「●チェックリスト」によりチェックする。
- 取扱説明書に従って、コンロ、グリルの点火確認および試運転を行なってください。
- コンロバーナーの燃焼に異常がないことを確認してください。

都市ガス用で万一リフティング(飛火)や逆火などが発生した場合、ダンパーを矢印(←→)の方向に動かして先端にやや丸みがある炎に調節してください。



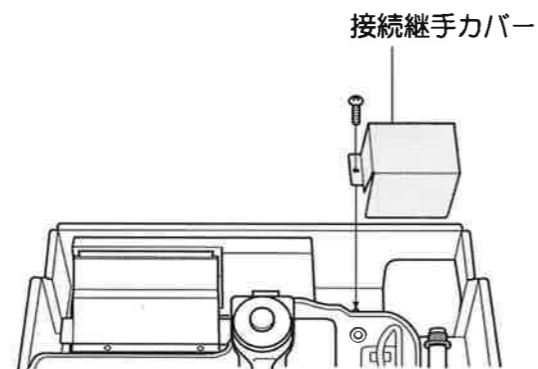
⑦ グリル排気筒の取り付け

- 元の状態に、グリル排気筒を取り付けてください。
(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「グリル排気筒の取り外し」と逆の手順になります。)



⑧ 接続継手カバーの取り付け

- 元の状態に、接続継手カバーを取り付けてください。
(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「接続継手カバーの取り外し」と逆の手順になります。)



⑨ 部品の取り付け

- トッププレート、バーナーキャップ、しる受け皿、ごとく、グリル皿、乾電池の取り付け
(ドロップインテーブル単独で設置する場合の⑤参照)

⑩ ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なってください。(4. ガス配管・接続工事 参照)
- ガスコンベクションオープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行なってください。

製造者

松下電器産業株式会社 ガスシステム事業部

奈良県大和郡山市筒井町800

TEL (0743)56-1121 〒639-1188